２０　　年度海外機関飛翔気球実験　情報提供書

（海外機関が提供する気球飛翔機会を利用した気球実験）

国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構　宇宙科学研究所長　殿

[申請年月日]

１．研究内容

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 | [研究課題名と，もしあれば実験名を記入してください。] |
| 研究領域(主領域に◎，副領域に○) | [　]天文 | [　]宇宙線・宇宙物理 | [　]地球惑星科学 | [　]宇宙工学 | [　]微小重力科学 |
| 研究目的，研究方法の概要　[項目1, 2までで1ページ以内に収まるようにしてください] |
|  |
| 今回の気球飛翔で期待される成果 | 気球飛翔要求を演繹的に導出できるように，典型的に期待される成果と，最低限獲得されなければならない成果がわかるように記入してください。 |
|  |

２．研究代表者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | [氏名] | Ｅメール | [Eメールアドレス] |
| 所属研究機関・部局・職 | [機関・部局・職] |
| 住所 | 〒　　　-　　　　[住所] |
| 電話 | 　　　(　　　　)XXXX | FAX | 　　　(　　　　)XXXX |

３．飛翔機会を提供する機関

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 | [飛翔機会提供機関名] |
| 放球場所 | [放球場所] | 放球時期 | ２０　　年　　月 |
| 海外機関との調整が始まっている場合には先方の担当者名 | [先方担当者名] |
| Ｅメール | [先方担当者Eメール] | 電話 | +XX XXX(XXX)XXXX |

４．気球飛翔要求

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要求 | 実験目的からのブレークダウンにより満たさない場合に実施意義を失う条件 | 希望 | 期待される成果を十分にあげるために必要な条件 |
| 最高到達高度 | ○○　ｋｍ | ○○　ｋｍ |
| 高度安定性（もしあれば） | ±○○　ｋｍ | ±○○　ｋｍ |
| 最高高度飛翔時間 | 　　時間　　分以上 | 　　時間　　分以上 |
| 最高高度到達時刻（もしあれば） | 午前　　時　　分以降 | 午前　　時　　分以降 |
| その他特殊な要求 | [放球時期を特定する事情，飛翔中の高度変更，上昇下降速度の制限などがあれば記述してください。] |

５．ペイロード/ゴンドラ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| サイズ | （幅）○○　ｍ | （奥行）○○　ｍ | （高さ）○○　ｍ |
| 重量 | ○○　ｋｇ　（搭載実験機器，電源，ゴンドラ構造体を含む） |
| 実験装置の概要　[実験装置の構成，運用の概略，要求する通信などについて簡略に記述してください] |
| 資金計画 | 搭載機器，ゴンドラ構造体，実験旅費などを含めた実験実施に必要な経費の獲得状況 | [ ] 獲得済み | [ ] 申請中 |
| 国内での事前飛翔 | [ ] 必要（２０　　年　　　月予定） | [ ] 不要 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | [受付日] | 受付番号 | [受付番号] |

※本情報提供書への記載情報については，大気球専門委員会での審議及びそれに関する通知以外に使用することはありません。

※本情報提供書は２ページ以内に収まるようにしてください。補足資料を添付する場合，補足資料のページ制限はありません。